田舎モダン

開成町
kaisei town

議会だより

6月20日　新庁舎建設現場見学会

新庁舎完成へ向け、着実に進行中

・あじさいの花が咲く議場で
　６月定例会議開催(開かれた議会日曜議会)　２～３

・町政を問う！一般質問に全議員が登壇　４～８

・日曜議会傍聴者の声
　どう見えた？開成町の今と未来　９

・新メンバーでスタート！委員会レポート　10

６月定例会議
No.198
令和元年８月１日発行

6月定例会議

～初の定例会議で町長が所信表明～

令和に入り、初めての定例会議が6月21日・23日に開催されました。

議会の冒頭では、府川町長が三期目の所信表明として、「田舎モダンな町を目指して着実な進歩」として、「元気・きれい・健康」の3つの視点、「北部地域・中部地域・南部地域・広域連携」の3つの地域と県や他市町との連携についての公約を詳細に述べました（内容は町のホームページに掲載されています）。

所信を述べる府川町長

条例制定

○開成町福祉会館条例等の一部改正

消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴い、公の施設の利用料金の上限額の改定。主に改定した施設は次のとおり。

〈全員賛成〉

●福祉会館
多目的ホールや団体利用コーナーなど

●水辺スポーツ公園
パークゴルフ場や野球場など

●あしがり郷瀬戸屋敷
土蔵など

補正予算

○令和元年度一般会計補正予算（第1号）

主な内容は、消費税・地方消費税率の引上げが低所得者・子育て世帯（0～2歳児）の消費に与える影響を緩和する等を目的とするプレミアム付商品券の事業を足柄上商工振興会へ委託する経費を計上。また、39歳から56歳の男性を対象に風疹の抗体検査と定期予防接種を原則無料で実施する個別接種委託料を計上。

〈全員賛成〉

令和元年開成町議会　６月定例会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	下山千津子	佐々木昇	武井正広	湯川洋治	茅沼隆文	星野洋一	井上三史	山本研一	石田史行	井上慎司	前田せつよ
町長	6/21	開成町森林環境譲与税基金条例を制定することについて（◆森林環境譲与税を基金として積み立て、適正に管理及び運用するための基金を設置するため）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて（◆国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、選挙長等の費用弁償額の改定）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町税条例の一部を改正する条例を制定することについて（◆地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税の環境性能割及び種別割の特例を設ける等の改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町福祉会館条例等の一部を改正する条例を制定することについて（◆消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴い、公の施設の利用料金の上限額を改定）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて（◆災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害援護資金の利率を定める等の改正）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結について（◆平成31年度あしがり郷交流拠点整備の工事請負契約をするため）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和元年度開成町一般会計補正予算（第１号）について（◆主にプレミアム付商品券事業運営委託料、感染症対策事業費の個別接種委託料を計上）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆議案の要約　★吉田敏郎議長は採決に加わらない。　○は賛成した者　●は賛成しなかった者　「除」は除斥　「欠」は欠席

町政を問う 一般質問

※一般質問：議員が町の行政について質疑し、町側に答弁を求めるものです。

※ 質問者本人の原稿を、広報分科会委員が議事録に基づき校正しています。

高齢者の運転による事故防止策は

佐々木　昇
議員

高齢社会が急速に進む中で、高齢者の運転による死亡事故など悲惨な交通事故が相次いで発生している。

本町では、これまで大きな事故の事例はないが、今後、事故が発生しないために、運転免許を返納しやすい環境の構築が必要と考える。

問　運転免許自主返納促進への取り組みは。

答　警察では各種キャンペーン時のチラシ配布、ポスターやHPによる啓発、高齢者向け交通安全教室や会議開催時などで呼びかけを行っている。町でも、啓発を進めていきたいと考えている。一方で、高齢者の交通安全対策側面支援の一環として、松田警察署とシルバードライビングスクールを実施している。

問　福井県などで取り組んでいるドライブレコーダーを活用した交通安全指導を取り入れては。

答　交通対策は、県内、警察、神奈川県全体と、広域の中で行う方が効率的なので、県や松田警察署に、そういった促しも行い一緒にやっていきたいと思う。

問　今後、事故防止策として「緊急発進防止装置」「先進安全自動車」「安全運転サポート車」などの普及促進が補助金ありきで進んでくると思うが、本町はどのような対応を考えているのか。

答　内閣府でも、高齢者に関する安全運転を支える対策を加速させるということなので、その動向を踏まえながら適切に対応していきたい。

問　運転免許自主返納サポート制度の構築を。

答　神奈川県では、神奈川県高齢者運転免許自主返納サポート協議会を発足させ、協議会に加盟する企業等から各種割引サービスなどの特典を受けられるサポートを展開している。この制度を町民の皆さんに周知していきたいと考えている。

シルバードライビングスクールの様子

高齢者福祉の環境整備を問う

前田　せつよ
議員

本町の総合計画における地域福祉の充実については、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉の充実を図ります。」と掲げている。

町は、福祉を目的とした町内巡回バスを4年前から運行している。

町民からは課題が残されているとの声もあり、具体的には買い物や通院などの移動で、自宅から停留所まで行き来することが難しい方々がいる。

問　移動支援の参考事例として奈良県田原本町では、長年移動支援を検討する中、デマンドバスを運用したものの、最終的には「初乗り運賃補助制度」に落ち着き、その後好評でデマンドバス運用時の5倍の利用者という。

本町独自で、移動支援の整備のために学識経験者を含む協議会を立ち上げては。

答　基本的には自治会からご意見を聞く。それだけでは足りないということだが、福祉的な部分だけでいいのかも含め協議会等については検討する。

問　高齢者やその家族が気軽に立ち寄れる居場所づくりについて数を増やす考えは。

答　常設の居場所については重層的にということからも研究したい。

問　近隣では、NPOが庭付きの古民家を借りて常設の居場所づくりに取組んだり、社協の主導で、町を生活圏から4か所に区分し毎月120名が集まる居場所を充足した自治体もあるが。

答　本町では、自治体や社協も行っているが、他自治体ではNPOや地域ボランティアが行い、そこから主体者も誕生している。社協が行うのか、NPOを育てるのか、あるいは地域ボランティアに任せるのか。そこは福祉の面、保険健康の面と相互に絡む部分もあるので研究したい。

町内巡回バス

本町の投票率向上策と主権者教育の導入は

井上　慎司
議員

本町の投票率は下降線をたどっている。

多様な世代の声を反映させるためにも選挙への関心を持つことが必要である。親の世代が高い資質を持った有権者になることが次世代の有権者を育てることになる。

自ら考え主体的に行動できる人間を育成するための主権者教育に取り組むことも重要であり、教育の町を掲げる本町の子どもたちが自ら考え主体的に行動できる力を育ててほしいと願う。

問　本町の投票率向上策は。

答　投票所の増設や期日前投票の利便性向上に向けた取り組みのための補正予算の計上をした。政治・選挙への関心を高め、投票環境を向上させるため、地道な活動を根気強く続けていく。

問　主権者教育を小・中学校から導入する考えは。

答　様々な活動を通じ主権者教育を実践しており、今後も学習指導要領に沿って資質・能力の育成に努めていく。

問　本町の選挙啓発の具体策は。

答　吉田島高校への出前授業の実施、文命中学校の生徒会選挙においては、実物の投票箱・記載台・ポスター掲示板を使ってもらっている。

問　小学生向けの選挙啓発の取り組みは。

答　小学生向けの啓発活動は行っていない。生涯学習講座を利用してほしい。

問　『あじさい塾』に主権者教育を盛り込んでいく考えは。

答　あじさい講座を再検討し充実させ、『あじさい塾』等への展開も考えていきたい。

問　神奈川県内でも多くの市町村で子ども議会の取り組みがされている。本町は子ども議会の導入を前向きに検討するか。

答　学校は日頃の教育に膨大な時間を割いている。そちらの時数との兼ね合いになるが、研究はしていきたい。

大人も子どもも「ランチを決めるご飯選挙ワークショップ」の様子

公園のさらなる利活用促進を

茅沼　隆文
議員

我が町には、利用頻度が高いものや、いつ見てもあまり利用されていない公園がある。公園は、子どもの遊び場、地域住民の交流拠点、災害時の避難場所としての機能を備えており、町民の憩いの場として整備を進めているとしてある。

問　町の公園には、これらのニーズを満たす機能が備わっているのか。また、利用促進には常に行き届いた維持管理が肝要であるが、公園の現状、設置時の機能と狙い、管理の現状と問題点は。

答　都市公園法に基づく都市公園が13か所、圃場整備に伴い整備した農村公園が10か所など合計46か所の公園があり、シルバー人材センターや造園業者、専門業者に委託して、機動的、適切な維持管理に努めている。

問　憩いの場であると感じることができるのは、みなみ地区の小規模公園を除いて、ほとんどない。憩いの場となる公園とは、どのような公園であると認識しているのか。

答　心が安らぐ場所であり、人と人の交流が図られるコミュニティの場であると考える。中家村公園や松ノ木河原公園のように、町が直接整備した公園では地域住民のニーズを基に基本コンセプトを定めて整備した。

問　維持管理がきちんとできているところは、水辺スポーツ公園と駅前第二公園くらいで、その他の公園では、整備の作業をした時だけはきれいだが、しばらくすると手入れがなされていない状態となっている。今後の維持管理を含めた整備方針は。

答　一度、整備した公園についても、必要に応じて再整備ということも検討していきたい。公園は常に快適にという形の中で、今後も効率性、効果的ということで検討を進めていく。

中家村公園

児童・園児の交通安全対策は

湯川　洋治
議員

滋賀県大津市の交差点で起きた園児、保育士の死傷事故は大変痛ましいものだった。交差点の信号機は矢印信号機となっており、ドライバーがルールを守っていれば防げた事故であった。

開成駅南側の交差点は矢印式信号機がなく大変危険な場所と認識し以前から矢印式信号機の設置を要望しているところであり事故を防ぐため町の対策は。

問　開成駅南側の交差点の矢印式信号機について環境を整えて早期に解決していただきたい。

答　開成駅南側の交差点及び開成南小学校西交差点では朝夕のラッシュ時に右折することが大変難しいことは認識している。松田警察署・県会議員で構成する政党別議員団への要望など設置要望を継続している。子どもたちはもとより・高齢者など歩行者の安全確保のため要望、協議を継続していく。

問　教育委員会の対応は。

答　子どもたちの安全安心を確保する観点から、事故が発生した都度、神奈川県からの通知等に基づき安全確保の徹底を園・学校に促している。大津市の事故を受け町内の民間保育園に対しても安全確保を依頼した。

問　スクールゾーンについて路面のペイント・歩道・路側帯の拡幅等について検討があるか。

答　表示が見えづらいとか路面の状況、補修等を含め状況を見ながら適宜対応していく。

問　危機管理マニュアルが策定されているが今回の事故の対策は。

答　学校の危機管理マニュアルは災害・不審者対策・傷病者が発生した場合等に基づき策定されているが、昨今の事件を受け登下校の安全確保など新たな状況を鑑みながら改定等を図っていきたい。

子どもたちの安全確保を

府川町政3期目の所信と決意を問う

石田　史行　議員

今後6年間のまちづくりの基本計画は既に決まっているとはいえ、具体化あるいは道筋をつけるには府川町長の強いリーダーシップが必要であり、府川町政3期目の使命といえる。

問　町長は3期目にあたっての公約を様々掲げているが、4年間で最優先、最重点に取り組む課題と決意を問う。

答　北部地域活性化のため、瀬戸屋敷周辺整備として駐車場の拡大整備や、農産物の六次産業化を促進する加工所・直売所等を備えた交流拠点施設を今年中に完成させる。急行停車駅にふさわしい開成駅周辺整備を進めるため調査を行い、あわせて駅前通り線の開通及び駅前区画整理事業については、令和2年度の事業認可を目標に進めている。

問　温水施設の広域利用による健康寿命の延伸について、町長の思いとイメージ像は。

答　本町には近隣の町にあるような公共の温水施設は存在しない。町民の皆さんが町外の温水施設を利用できれば、高齢者の外出や交流のきっかけになり、生きがいにもつながり、健康寿命の延伸にも期待ができると考えた。イメージとしては毎月1回程度、町のバスを利用して送迎をし、過ごしていただくことを想定している。

問　ごみ処理体制の広域化の推進について、現在の取り組みと今後のスケジュールは。

答　本年4月から南足柄市環境課内に準備室を設置し、ごみ処理広域化の基本方針となる実施計画等の策定、令和2年度以降に事業方式の検討等を含んだ施設整備の方針となる基本計画策定に取り組む予定である。広域化のメリットを最大限活かせる施設整備に向けて1市5町で検討を進めていく。

水辺スポーツ公園パークゴルフ場並びに公園管理センターの施設整備を問う

山本　研一　議員

水辺スポーツ公園パークゴルフ場は、開設25年が経ち、コースや施設にも改善の必要性が出てきているのではないか。

問　「ねんりんピックかながわ21」のパークゴルフ会場が水辺スポーツ公園パークゴルフ場に決定したのを受け、パークゴルフ場並びに公園管理センターの施設整備の必要性は。

答　パークゴルフ場の整備については、芝生のクオリティー向上を中心にコース環境の整備に努め、軟式野球場の外野芝生部分に9ホールの増設をし、36ホールで開催する予定でいる。管理センターの施設整備については、できることから確実に対応し、より良い環境整備に努めていく。

問　前回の町長選挙時に町長が公約した9ホール増設について、現時点で、どう考えられているのか。

答　河川法の中でなかなか難しい。増設するつもりでいたが、9ホールを今の中でつくっていくには難しい状況が生まれたので断念したことをきちんと表明した。それは今でも同じである。

本町における災害（事故）リスクとその対策は

問　本町で町民の命を脅かす最もリスクの高いものは何だと考え、また、その対策をどのように考えているのか。

答　本町において、最もリスクの高い災害は台風やゲリラ豪雨に伴う水害であると考えている。さまざまな形態の災害や事故が発生することが想定されるが、情報の収集、的確な判断のもと、町民の皆さんがどのように自分の命を守る行動に結びつけていただけるかを最重点に考え、対応を図っていきたいと考えている。

増水する酒匂川

高齢者へのゴミ出し支援策を問う

星野　洋一　議員

環境省では、ごみを集積場まで運ぶことが困難な高齢者のために、自治体などがごみを回収するごみ出し支援制度の拡充に乗り出す方針を決めている。本町でも、平成28年に高齢化率が25％を超えている。

ごみ出し支援は、高齢者の負担を減らしてごみを収集できることに加え、高齢者の見守りなど効果が期待できる。

問　ひとり暮らしの高齢者または高齢者のみの世帯が一番困っている。人数は把握しているか。

答　平成27年10月1日現在、本町の世帯数は6，169世帯、高齢者の単身世帯は7．2％の443世帯。また、高齢者のみの世帯、御夫婦のみの世帯は11．6％で713世帯となっている。

問　町が進めている二つの地域での生活支援体制整備事業を他の地域にどう広めていくのか。

答　支え合い活動を他の地域にも広げるため、委託している開成町社会福祉協議会では整備に向けた取り組みをしている。令和2年度までに7団体の発足を目標としている。

問　ゴミ出し支援は定期的に高齢者宅を訪問することにより、高齢者の異変やトラブルに気づくことができる。ごみ出し時に声かけは行っているか。

答　社会福祉協議会が実施する「ちょこボラ」ではごみ出しの際に声かけを行い、安否確認をしている。

問　これから支援をするために、他との連携をどのように考えていくのか。

答　シルバー人材センターや老人クラブの友愛チームの活動の中で、ごみ出し支援を含めた高齢者の支援活動を行い、クラブの方がお互いに支え合う体制を持っているので、こちらも含めて広げていければと思う。

ゴミ出し支援策を

広域連携の方向性を問う

井上　三史　議員

圏域の活力を維持していくためには、各町が個別のまちづくりを展開するだけでなく、広域連携による政策的な発展や事務の効率化を図りながら地域づくりを進めていくことが必要である。

問　平成31年1月に第五次開成町総合計画後期基本計画を策定した本町では広域連携の方向性をどう考えているか。

答　複雑化、深刻化する行政課題の解決に向けて、昨年度から神奈川県の市町村課が中心となって「持続可能な行政サービス」の検討が進められている。足柄上地区の広域連携のさらなる推進に向け、県が関与する形で1市5町の組長同士の協議する場として「あしがら広域連携協議会」を新たに設置する。

問　神奈川県市町村課が中心となって検討された具体の内容がこの1年間で少しはあったのか。その成果は。

答　令和2年度には県が採用した保健師を市町村の不足した部分に充てるという。ただ、これは全部の市町村に配置ができるかどうかそのときになってみないと分からない。土木士についてもそういうことが可能になるかもしれない。

問　成年後見制度とは、判断力が衰えたり認知性高齢者、知的障がい者など自分自身の権利を守ることが十分でない人の財産管理や身上監護を支援する制度である。成年後見制度は本町だけで考えるよりは、広域で連携を図る課題だと考えるが。

答　足柄上地区地域自立支援協議会の中に権利擁護部会がある。この中で広域的に社会福祉協議会もメンバーに入り成年後見センターの設置に向け検討を行っている。

第五次総合計画基本構想
後期基本計画冊子

近い将来起こりうる人口減少に立ち向かう策は

武井　正広　議員

人口減少は静かなる危機と呼ばれるように、日々の生活においては実感しづらい。しかし、減少し始めると、地域経済の低下、さらなる人口減少のスパイラルが起き、地域コミュニティや自治体の行財政運営にも大きな影響を与える。今は人口増加中の本町においても、将来的な人口減少に立ち向かう対策が必要と考える。

問　第五次開成町総合計画で将来指標とした令和6年度19，300人に向けての人口増加策は。

答　人口減少は社会経済の地方財政に大きな影響を及ぼすため、人口の年齢構成バランスを良好に保つ為の施策を進めたい。今年度スタートした総合計画後期基本計画を着実かつ丁寧に遂行する中で目標人口の達成を目指す。

問　4年前、町長2期目の就任時の人口目標は2万人でした。現在もその考えか。

2万人を目指してまちづくりを進めるということか。

答　思いとして目標は2万人である。矛盾を指摘されている気がするが、総合計画の19，300人はきちんとやる。

問　他の自治体に先駆けて人口増への施策が必要。特に子育て世代に優しい町であることが大切であり2つ提案がある。妊産婦医療費助成制度。義務教育の給食無償化について検討いただきたい。

答　学校給食法の中で給食費は原則保護者負担の方針なので総合的に考える課題。産婦検診を今年から始めた。先行する自治体の状況を把握しながら検討していく。

問　人口増加に大きな影響を及ぼす駅前通り線の早期開通を公約された3期目の任期が終える時の駅前通り線のイメージは。

答　土地区画整理事業の県の認可は来年度が目標だが、4年後には道路整備は終わらない。

駅前通り線

北部地域を「田舎モダン」でさらなる活性化を

下山千津子　議員

町は、庁舎の完成や北部地域の拠点の瀬戸屋敷周辺の整備を計画している。観光バス等の受け入れができるよう駐車場の拡大整備やふるさと道具館をリニューアルし、加工所や地場産の直売所等の整備が行われようとしている。

問　農業振興をどのように考えるか。

答　担い手の確保・育成、流通・販売の支援・営農環境の保全等、多角的な農業振興策を進める。

問　観光交流拠点づくりをどのように考えるか。

答　魅力ある観光づくりには、「そこでしか体験できない、味わえない」事業を用意することが重要と考える。特に「食」に関する農産物販売・加工品の提供等が可能となる。

問　町長自ら地元に入り、農政全般の課題解決のため、農家の皆さんの声に耳を傾け、農業政策や計画を丁寧に説明し動く事が肝要と思うが。

答　一年間が大変重要と認識している。説明会や参加して貰えるような仕組みづくりを早急にやっていく。

問　北部地域活性化協議会は、年に何回開催されたか。

答　昨年は、9月と2月に開催。今年度は、進捗状況等を報告しながら7月、8月中に説明会を考えている。協議会以外に人・農地プランの計画も実施中で、後継者の問題等の解決策を見える化していく。

問　県道の怒田開成小田原線の道路拡幅の進捗状況は。

答　県が平成30年度に測量の調査等を実施した。調査結果に基づいて道路の拡幅する線形等を県が検討しており、検討終了後、用地買収と道路を広げていく。

問　北部地域の魅力を特に南部地域の住民に対してPRしては。

答　SNS等で広告効果が高まっている今日、発信力の強い年齢層の住民を北部地域に呼び込む工夫が必要である。

北部地域の拠点である瀬戸屋敷

あじさいの花が咲く議場で
6/23 第15回 日曜議会を開催

日曜議会 傍聴者の声

どう見えた？
開成町の今と未来

平日、仕事や学校等で議会を傍聴できない方にも議会活動を知っていただくために、開成町議会では平成17年から「日曜議会」を毎年行っており、今回で15回目を迎えました。当日は議長を除く全議員（11名）が一般質問を行いました。

町内外から計70名の方が傍聴され、多数のアンケートをいただきました。ご感想の一部をご紹介します。

傍聴者に小学生がいて、日曜議会が良い機会になっていると思った。

（男性・70歳代）

せっかくの日曜議会なので、その取り組みをもっと有効に活用してほしい。

平日には来れないが、日曜だから来れるという傍聴者を増やす努力をするべき。

（男性・50歳代）

初めて議会を傍聴したが、よい機会になった。また参加してみたい。議場のあじさいの花も綺麗で良かったと思う。

（女性・40歳代）

一般質問の時間が30分では深く議論できず、短いのではないかと思った。

（女性・70歳代）

議会への多くのご意見・ご感想、ありがとうございました。
今後の議会活動にできる限り反映してまいります。

開成町議会

※本会議の詳細質疑が掲載されている会議録は、議会のホームページに掲載しております。

現在調査中！ 委員会レポート

議会で取り扱う問題は、数が多く、内容も幅広い分野にわたっています。そこで、これらをいくつかの部門に分けて、専門的、能率的に審査・調査するために「常任委員会」を設けています。

総務経済常任委員会

・公共用地の整備と今後の見通しについて

委員長　湯川　洋治

町には多くの町有地が存在しています。そこで本委員会では、公共用地である、松ノ木河原多目的広場（仮）及び開成駅東口町有地の2箇所を主に、公共用地の整備と今後の見通しについてをテーマに調査研究を行っていきます。

今後は、担当課から意見聴取を行う予定です。

松ノ木河原多目的広場（仮）

教育民生常任委員会

・図書室の現状と課題について

委員長　石田　史行

町民センター図書室については本会議においても一般質問等がされています。そこで本委員会では、図書室の現状と課題、今後について調査研究を行っていきます。

まず、町民センター図書室の現状の課題をテーマに委員間討議を行いました。

今後は近隣市町の図書館の視察を行う予定です。

町民センター図書室

新庁舎建設 現在は…

新庁舎建設については、進捗状況の報告を受けています。表紙にもありましたが、6月20日に新庁舎建設現場見学会を行いました。

また、7月5日には新庁舎3階議会フロア設備説明会が行われ、議場に配置される設備の説明を受けました。

新庁舎３階議会フロア設備説明会

新庁舎 完成イメージ図

新庁舎の議場では、①開かれた議場、②利便性やデザイン性の高い議場、③将来変化や災害時等に対し、フレキシブルに対応可能な議場の3つをテーマに構築されていく予定で、町民のかたが来庁しやすい議場を目指します。

今後も進捗状況を議会だより等でお知らせする予定です。

現在の工事風景

議会の動き

5月

- 8日　●新議員研修会・議員懇談会
- 10日　●5月随時会議
  ●臨時全員協議会
- 13日　●県議長会新議員研修会
- 20日　●全員協議会
  ●議会運営委員会
  ●5月第2回随時会議
- 22日　●西部清掃組合議会臨時会
  ●足柄上郡議長会総会
- 23日　●足柄上衛生組合議会臨時会
- 24日　●県議長会正副委員長・事務局長研修会
- 28日　●全国町村議会正副議長研修会

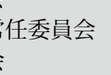
6月

- 13日　●議会運営委員会
  ●総務経済常任委員会
  ●広報広聴常任委員会
  ●広報分科会
  ●教育民生常任委員会
- 20日　●全員協議会
- 21日　●6月定例会議（21・23日）

7月

- 5日　●総務経済常任委員会
  ●議会運営委員会
- 9日　●広報分科会
- 11日　●教育民生常任委員会
- 17日　●広報分科会
- 19日　●全員協議会
  ●広聴分科会
- 24日　●県議長会県外行政視察（24日・25日）
- 30日　●福島県只見町議会視察来町

新議員研修会に参加しました



令和元年5月13日に神奈川自治会館にて県町村議会議長会主催の新議員研修会が開催されました。

当日は、県議長会事務局参事の沼田卓氏による「議会運営の基本」を主にした研修になっており、町村議会議員の必読書と言われている「議員必携」を基に、議会の制度や議会運営についてわかりやすく解説されてました。

また、今回は統一選挙後初の新議員研修ということで、他の町の新人議員のかたも多数参加されてました。

県町村議会議長会の沼田参事

令和元年5月21日と22日の2日間にわたり、今回当選されたかた向けに、役場業務や各部の取り組みについて理解していただくための研修会を開催しました。

当日は、町行政のことをより理解していただくための研修になっており、各部の取り組みの紹介や新庁舎や財政指標についての説明がありました。

質疑も活発に行い、大変有意義な研修となりました。

議員の必読書 議員必携

議会を傍聴しよう！

次回、9月3日(火)から　開会予定

傍聴の際は、住所、氏名、年齢（○歳代）を記入していただきます。
審議日程等は議会のホームページに掲載いたします。分からないことがありましたら、お気軽に議会事務局までお問い合わせください（８４－０３２３）。

各種団体の皆さん
議会と懇談会をしませんか！

開成町議会では、議会に対する要望の集約や議会活動の充実とご理解を図るため、町内の各種団体の皆様との懇談会を開催しています。この懇談会は随時受け付けています。開催日程、場所、懇談のテーマなどご相談させていただきますので、お気軽に議会事務局までご連絡ください。

議会と懇談会を希望される団体を随時募集しております！

編集後記

表紙は新庁舎建設現場見学会の写真です。安全確保のため服装はヘルメット、長袖、ズボン、長靴といった装いになりました。

この日、目にした所は完成時には隠れてしまう部分がほとんどですが、がっしりとした骨組みで重厚な建物といった印象でした。来年の5月には供用開始の予定です。

裏表紙の写真は6月の日曜議会終了後に撮りました。青色のアジサイが本町オリジナルの「開成ブルー」です。今後、株が増えて皆様方の目に触れるようになることでしょう。

議会だより198号から編集を受け持つ広報分科会のメンバーも新しくスタートです。町民に分かり易く見てもらえる議会だよりを目指し2年間担当することになりましたのでよろしくお願い申し上げます。

（井上 三史）

あじさいを囲んで

このメンバーで頑張ります！

開成町議会発行 編集／広報広聴常任委員会（広報分科会）

委 員 長　井上 三史　　委　員　佐々木 昇　　星野 洋一

副委員長　山本　研一　　武井 正広　　井上 慎司

議会だよりに掲載する広告を募集しています！

開成町議会では、町民サービスの向上と民間企業等との協働による地域の活性化を目指すことを目的に、議会だよりに掲載する有料広告を募集しています。

有料広告に関する掲載基準や申込書などは、議会ホームページに掲載しています。
（1枠につき1回5,000円※減免規定あり）

広　告

広　告

開成町議会発行 編集／広報広聴常任委員会（広報分科会） 〒258-8502　神奈川県足柄上郡開成町延沢773
TEL. 0465(84)0323 FAX. 0465(82)5234　メールアドレス gikaijimu@town.kaisei.kanagawa.jp